



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



平成30年度卒業式および学位記授与式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆



平成30年度昭和大学卒業式が、3月7日(木)午前10時から横浜みなとみらいホールにおいて盛大かつ厳粛に執り行われました。今年度の卒業生は、医学部(87回生)116名、歯学部(37回生)94名、薬学部(51回生)195名、保健医療学部(14回生)163名の合計568名でした。生憎の雨になりましたが、広い会場は着飾った卒業生と大勢の父兄ならびに関係者の出席で埋め尽くされました。

式は大学協定校である洗足学園大学卒業生のオルガニスト中澤未帆さんの演奏で厳かに開会しました。校歌斉唱に引き続き、各学部の総代に小出良平学長から学位記が授与され、歯学部総代を大竹 開君が務めました。小出学長の告辞と小口勝司理事長の祝辞に引き続き、各種表彰が執り行われました。歯学部からは上條賞を大竹 開君、同窓会賞を朽方晋介君、小峯佳代さん、中村怜菜さんの3名、上條旗ヶ岡賞を卓球部の寺内晴香さん、最優秀チューデント・インストラクター賞を米田晴香さんが受賞しました。

父兄会の與儀美由紀会長から卒業生代表へ祝辞と記念品贈呈があり、在校生代表の送辞のあと、歯学部大竹 開君が卒業生を代表して感動的な答辞をしました。昭和大学関係者全員が「昭和大学宣言」を高らかに唱和しました。卒業の歌(3月9日)斉唱のあと、恒例となった応援指導部による卒業生への力強いエールがあり、会場全体が熱気に包まれる中閉会しました。昨年に引き続き、卒業生も交えて昭和大学管弦楽団および OBOG 会の特別演奏が行われました。歯学部11回生大矢哲雄先生の名指揮で、会場が一体となり卒業を祝福しました。

引き続き午後12時30分から、学部ごとに会場を

移し、横浜ベイホテル東急の「アンバサダーボールルーム」において、歯学部学位記伝達式が執り行われました。こちらにも大勢の父兄の参加がありました。今回は大学全体の姉妹校である韓国キョンヒ大学のクウォン歯学部長が卒業式と伝達式に参列してくださいました。本年の卒業生2名が昨年の4月に海外選択実習でキョンヒ大学を訪問し、クウォン先生のご指導をうけました。

式典では宮崎歯学部長、クウォン先生、小原同窓会長の挨拶に引き続き、卒業生全員に宮崎歯学部長から学位記が伝達されました。引き続き学生表彰、記念品贈呈および花束贈呈を行い、上條学生部長の挨拶で午後1時半に閉式しました。

伝達式における学生表彰者は以下の通りです。

教育委員長賞: 稲本香織, 学生部長賞: 下野史菜子, デンツプライシロナ・スチューデント・アワード: 河合良太, 権 洗真, モリタ補綴学賞: 津田晋平, フィリップス賞: 新田珠花, ストロマンアワード: 手嶋留里, 日本小児歯科学会学部学生優秀賞: 戸羽一綺(敬称略)

卒業生におかれては、伝達式で配布された卒業までのロードマップとコンピテンシーを折りに触れては目を通し、本学の卒業生であることに誇りをもって今後各方面で活躍されることを祈念します。



謝恩会に出席しました

教育委員長 美島 健二

昭和大学歯学部第37期生の謝恩会が、平成31年3月7日(木)に帝国ホテル孔雀の間東で開催されました。謝恩会に先立ち卒業式がみなとみらいホール



で、学位伝達式が横浜ベイホテル東急アンバサダーズボールルームで行われました。本年度の卒業式は、オルガニストの中澤

未帆さんの演奏によるグスターヴ・ホルスト組曲「惑星」のジュピターから始まり、とても荘厳なすばらしい式となりました。謝恩会では、卒業生とご父兄の拍手に迎えられ、小口理事長、小出学長、片桐名誉学長に続いて、宮崎歯学部長を先頭に歯学部教員が入場しました。謝恩会委員の開会の宣言に続いて、御来賓の小口理事長、小出学長、片桐名誉学長、與儀父兄会長から心温まる御祝辞を頂戴しました。宮崎歯学部長からは卒業生に対する激励がなされ、榎病院長の乾杯の音頭で祝宴に入りました。続いて、小原歯学部同窓会長や教育委員長の挨拶があり、恒例になったランキング発表では、多くの教員が表彰され盛り上がりを見せていました。その中でも特に、口腔リハビリテーション医学部門の高橋教授のビデオレターは心温まる内容でした。会場での記念撮影のあと、盛会裡に閉会となりました。

謝恩会委員長をはじめ企画・進行に携わった卒業生の皆さんお疲れ様でした。卒業生全員の進路に幸多からんことを祈っています。

平成30年度大学院修了式が挙行されました

歯学研究科長 高見 正道



平成31年3月15日午後4時より、平成30年度大学院秋季修了式が上條講堂において挙行されました。最初に昭和大学管弦楽

団による演奏がおこなわれ、続いて小出学長より学位記が各研究科の修了者代表に授与されました。今回は、医学研究科43名、歯学研究科26名、薬学研究科9名が博士の学位を取得し、保健医療学研究科3名が博士、7名が修士の学位を取得しました。小出学長と小口理事長の祝辞に続いて各研究科長が挨拶し、歯学研究科長の私は、「これからは学問を極めた者として周囲から期待され、能力以上の成果を求められることもありますが、大学院で培った強い精神力と行動力で乗り越えてください」と述べました。また、

歯学研究科の上條賞は、周 君さん(歯科理工学)が受賞しました。最後に昭和大学宣言と校歌斉唱をおこなった後、研究科長から修了者へ学位記が一人ずつ手渡され、その学位記を持って写真撮影をおこないました。

選抜Ⅱ期入試が行われました

入試支援課 鳥山 ちひろ

平成31年度歯学部一般選抜入試Ⅱ期が3月3日(日)に、旗の台キャンパスにて、薬学部、保健医療学部と3学部合同で実施されました。歯学部は16号館、薬学部・保健医療学部は4号館が試験場となりました。



今年度の志願者数は、一般選抜入試Ⅱ期(8名募集)が152名とたくさんの方からの出願がありました。

試験当日はあいにくの雨模様でしたが、交通機関等の乱れや各試験場等の特に大きなトラブルもなく、各学部教職員の方々のご協力により無事に終了することができました。

そして、3月5日(火)に一般選抜入試Ⅱ期の合格者を発表いたしました。多くの優秀な学生の入学と歯学部の発展がますます期待されます。

これをもちまして、平成31年度入学試験の全日程が無事に終了いたしました。ご多忙の中、春の入試広報活動から始まり、ご協力を賜りました教職員の皆さまには、心から厚く御礼を申し上げます。次年度もご協力の程、何卒宜しくお願いいたします。

退職のご挨拶

歯学部長 宮崎 隆

平成31年3月31日をもって昭和大学を定年退職することになりました。昭和59年から35年間、歯科理工学の教育・研究に従事いたしました。また、平成15年からは歯学部長を16年間務めさせていただきました。共用試験の導入、卒後研修制度の必修化ほか歯科医



師育成のグランドデザインが大きく変わる中、何とか本歯学部の舵取りをできたのは、小口理事長、小出学長ほか歴代の学長先生、各学部長先生のご指導のお蔭です。そして協働してきた歯学部の教育職員ならびに事務職員に心より感謝申し上げます。医系総合大学の環境の中で、本歯学部は他大学に無い特徴ある教育・研究・診療を通じて評価が高まっています。今後は後任の榎歯学部長のもとで、さらに発展することを祈念しています。

平成とともに定年を迎え

小児成育歯科学講座 島田 幸恵

昭和59年に昭和大学小児歯科学教室に入局し早35年になりました。初代佐々教授、二代目井上教授に引き続き三代目の小児成育歯科学講座の教授を拝命させていただきました。昭和大学出身の初の女性の教授となりました。教授としては短い期間ですが、人生の半分以上を昭和大学でお世話になり、多くの方のご指導・ご支援をいただき大変ありがとうございました。



入局当初は、「齲蝕の洪水」時代でしたが、現在では、齲蝕治療だけでなく、齲蝕になる前の「マイナス1歳からの予防歯科」や歯の萌出障害、口腔機能訓練、スポーツマウスガード作製と多岐に渡っています。私は、歯の萌出障害の研究を進めてまいりました。齲蝕が少なくなったため、エックス線写真撮影される機会が減ったこと、学校歯科診断では、歯の萌出障害をチェックする項目がないために発見が遅れる原因になっていました。歯の萌出障害の早期発見できるスクリーニング法を開発・萌出障害歯の成長・発育力を利用して治療する外科的咬合誘導という分野を確立してきました。教育では、小児歯科用の教育模型とその模型を用いた新しい実習を開発しました。昭和大学歯学部開発模型として全国の大学で使用してもらえるようになりました。小児歯科教育を通じて口腔衛生管理や、歯の萌出障害の早期発見・早期治療の重要性を発信し、QOLの高い「9028」を目指し実現できるよう願っております。今後ますます、昭和大学歯学部の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

大学院中間報告会の開催について

大学院運営委員長 桑田 啓貴

3月16日(土曜日)、歯科病院の臨床講堂において、大学院博士過程に在籍する3年生と早期修了希望の2年生の大学院生を対象とし、中間報告会の一日目を実施されました。引き続き、3月23日、30日および4月6日の日程で行われます。中間報告会は学位審査の約10ヶ月前を目処に実施され、各大学院生が取り組んできた課題の進捗状況を、主査・副査候補者の確認を受ける最初の機会となります。審査員は必ずしも当該の研究内容の専門家ではありませんので、専門外の人にもわかりやすく発表する必要があります。大学院生にとってはプレゼン作成および練習の最良の機会となるでしょう。また、中間報告会で審

査の先生から有益な示唆を得られることもしばしばです。追加実験あるいは修正などが明らかになった場合は、研究指導者とよく相談し、最終年度の研究の進め方について、是非議論を深める契機としてください。大学院では、博士号取得を目的とするだけでなく、各個人が研究者としての訓練を受け、研鑽することで将来に渡って自ら課題を発見し、解決する能力を培うことも期待されます。残されている時間は限られていますが、益々、大学院生の皆さんの精進を期待します。



上條旗が岡賞を受賞しました

歯学部6年 寺内 晴香



昭和大学歯学部第37期生の寺内晴香と申します。

この度は上條旗ヶ丘賞を頂くことができ、大変光栄に思っております。

私は昭和大学入学後、6年間卓球部に在籍致しました。私にとって部活動は唯一先輩、後輩、同期と関わることのできる場所で、心の支えとなる存在でした。卓球部に入部してからは勉強や部活動の相談や遠征、他大学の練習への参加など多くの交流の機会を頂きました。また在籍していた先輩方は勉学においても優秀な方ばかりで、練習だけでなく勉強を頑張る原動力にもなりました。実習や勉強で忙しいはずの先輩方が練習にいらっしゃる度、自分も文武両道できるようになりたいと思い、6年間努力し続けた結果、国家試験合格に繋げることができました。卓球部に入部し全歯体総合2連覇や関東医科学生卓球大会4連覇など素晴らしい成績に携わることができ、本当に良い経験を得ることができました。

今回上條旗ヶ丘賞を頂くことができたのは決して自分一人の力ではなく、沢山の方の支え故と思っております。これからは昭和大学卒業生として今までお世話になった方々に恩返しできるよう、誠心誠意努めて参りますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いたします。

上條賞(大学院)を受賞しました

歯学研究科(歯科理工学) 周 君

On March 15, Showa University held a graduation ceremony for its graduates. It took me three and a half year to complete the PHD course ahead of normal schedule. Meanwhile, I was the student representative of the dental school to accept the degree furthermore I received the Kamijo Award which is not only my supreme honor, but also recognition of my work.



My research topic is Quantitative/qualitative analysis of adhesive-dentin interface in the presence of 10-methacryloyloxydecyl dihydrogen phosphate(10-MDP). Dental adhesive provides effective retention of filling materials via adhesive-dentin hybridization. The use of co-monomers such as 10-MDP, is considered to be crucial for hybridization owing to their ionic-binding to calcium and co-polymerization in the polymerizable adhesives. In my study, the correlation between polymerization quality and mechanical properties at the adhesive-dentin interfaces in the presence or absence of 10-MDP is evaluated. Despite 10-MDP has excellent diffusion and apparent higher degree of co-polymerization, it reduces the elastic modulus of the interface, which challenges the current clinical application. We have adopted the most suitable chemical assessment by Raman, and for the first time, nanoindentation technology is used as one of the criteria to evaluate the hybrid layer, which is also the innovation idea of previous studies.

In the process of doing scientific research, I have obtained a lot of inspiration, not only experimental methods, but also scientific research minds, which will provide support for my future development and will benefit my life.

In my doctoral course, I would like to thank my respectable professor Dr. Miyazaki, instructor Dr. Shibata, three professors who reviewed my research works and all the teachers in the department of Dental Biomaterials & Engineering, including the administrative staffs in the university. As a foreign student, they spent more time and took more care of me compared local students.

至誠塾修了式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆



平成30年度昭和大学至誠塾(9回生)修了式が、3月13日(水)午後6時から1号館5階カンファレンスルームで開催されました。至誠塾は学校法人昭和大学の発展のために、教育職員だけでなく全ての職員を対象に、大学の経営や運営に関わることを広く学ぶ場として平成21年に開塾されました。修業年限は2年間で、1年目は講義および討論形式で実施され、2年目はテーマ別研究および発表形式で実施されます。本年度の修了生は16名で、歯学部からは口腔生理学講座の望月文子先生と歯科補綴学講座の田中晋平先生のお二人が修了しました。塾長である小口理事長から、2年次の研究テーマの紹介と実現への期待のお言葉とともに修了証が授与されました。引き続き小口塾長から、修了生が各部署のリーダーとして大学の発展に努めてほしいと力強い告示がありました。一同で昭和大学宣言と校歌斉唱をして閉式しました。修了生が一丸となって本学の発展のためにそれぞれの立場で貢献されますようお祈り申し上げます。

専門医・認定医取得

広報委員長 中村 雅典

- 日本障害者歯科学会 認定医
【小児成育歯科学講座】 松島 瞳
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
【スペシャルニーズ口腔医学講座】
刑部 月(口腔ケアセンター)
岩内 めぐみ(口腔衛生学部門)

行事予定

広報委員長 中村 雅典

- 4月1日(月): 歯学部第6学年進級式
- 4月2日(火): 歯学部第4学年健康診断
- 4月4日(木) 新2年生防災訓練
- 4月6日(土): 大学院入学式
- 4月12日(金): 入学式

編集後記

歯科補綴学講座 三田 稔

厳しい寒さから一転、春風が快い季節となりました。年度始めも忙しい日々が続くと思われませんが、思わぬ花冷えに体調を崩されませんよう、皆様におかれましてはくれぐれもお気をつけ下さい。末筆ながら、年度末のご多忙の折、皆様から多くの記事をご寄稿いただきましたこと、この場をお借りして深謝致します。